

震災復興祈念シンポジウム&コンサート



Michael Coudenhove= Kalergi (2012)

「3月11日に始まる大震災の日々、私は絶え間なく警戒を呼びかける公報を聞きながら、関東のアトリエで七枚のスケッチを描いた…力強く舞い上がる龍は今年の干支であり、ガレキの中からは希望の緑が芽吹いている。友よ、追悼とともに復興と希望をわかちあおう」
(ミヒャエル・クーデンホーフ・カレルギー「ガレキから芽吹く希望の若葉と昇龍」(提供:クーデンホーフ・カレルギー画伯))

シンポジウム 「世界に広がる人々のちからのネットワーク—新たな日本社会の再生に向けて」

コンサート 「ハンガリー人作曲家〈震災日本に捧ぐ〉演奏及び日本の若い音楽家との協演」

4月14日(土) 13時-18時 東京大学弥生キャンパス・弥生講堂(地下鉄南北線・東大前駅 徒歩1分)

【入場無料・事前予約不要】

連絡先: NIHU プログラム・イスラーム地域研究東大拠点 iaschuto@l.u-tokyo.ac.jp

震災復興祈念 シンポジウム&コンサート実行委員会

世界に広がる人々のちからのネットワーク
新たな日本社会の再生に向けて
Network of People's Power across the Universe:
Towards the Regeneration of New Japanese Society

体験したことのない災害を前に、無力感と悲しみに打ち沈み、人々は絶望したかのようにみえた。しかし、物心両面にわたる支援の輪は止まることなく、世界に広がるネットワークとして定着しようとしている。多様な信仰や文化をもつさまざまな支援者たちの活動の報告から、人々のつながりが生み出される背景を考え、世界を変革する新たな芽吹きを模索するシンポジウムを開催する。最後に、犠牲者を追悼し、被災者とともに支援者たちを慰労し、新しく生まれ変わる日本社会を鼓舞するコンサートを実施する

日 時：2012年4月14日（土）（開場 13:00）13:30-17:30
会 場：東京大学弥生キャンパス 弥生講堂（地下鉄南北線・東大前駅 徒歩1分 農正門入る）
連絡先：NIHU プログラム・イスラーム地域研究東大拠点 iaschuto@l.u-tokyo.ac.jp

【入場無料・事前予約不要】

第一部 多様な支援ネットワークの広がり地域社会の再生

13:30-14:00 ポスターセッション：多様な支援のネットワーク

Nitto 会（日土文化交流会）＋Kimse Yok Mu

KAJI（インドネシア日本同好会）、ICC（インターカルチャークラブ、北見市）

宗援連（宗教者災害支援連絡会）、アジアン・ガーデン＋バンングラデシュ人留学生

JIM-NET（日本イラク医療支援ネットワーク）、サラエヴォ・フットボール・プロジェクト その他

14:00-15:15 シンポジウム：新しい地域社会再生の模索

司 会：島菌進（東京大学大学院人文社会系研究科）、阿久津正幸（同イスラーム地域研究部門）

パネラー：ウグル・ユジェル（Nitto 会理事）／トリイ・アシ・マワルティ（KAJI）

宮坂直樹（宗援連）／篠原祥哲（WCRP 日本委員会）（順不同）

第二部 危機管理と信頼社会

15:15-16:00 ポスターセッション：食の安全と情報化社会を考える

田野井慶太郎他（東京大学大学院農学生命科学研究科）

ボランティア・学生～風説・流言とインターネット情報

第三部 震災復興祈念コンサート

16:00-17:30

日本に捧ぐ震災ラメント

ヴェドレシュ・チャバ ピアノ独奏

Consolatio-なぐさめー

ヴェドレシュ・チャバ ピアノ&家田堯バイオリン

エルガー作曲：弦楽セレナーデ

演奏 東京芸術大学 TGS24

チャイコフスキー：弦楽セレナーデ

演奏 東京芸術大学 TGS24

曲目について

プッチーニのクリザンテミは悲劇の共有を、エルガーの弦楽セレナーデは疲れた心を慰める美と愛の温かさを、そしてチャコフスキー自身が生涯愛したセレナーデに希望と共に生きる未来を託します。震災ラメントは、今回のコンサートのために、ヴェドレシュさんが作曲した作品です（家田堯）

主催：震災復興祈念 シンポジウム&コンサート実行委員会

共催：NIHU プログラム・イスラーム地域研究東大拠点、日本ハンガリー友好協会、ハンガリー文化センター、北海道大学 GCOE「境界研究の拠点形成」、宗教者災害支援連絡会（宗援連）、世界宗教者平和会議・日本委員会、ありがとう基金（順不同）

後援：福島県双葉町、ハンガリー大使館、東京大学大学院人文社会系研究科／農学生命科学研究科（順不同）